

1 黒星病の発生状況

8月29日の発病状況調査結果では、いずれの品種も発生は少なく、果実への発病は、本年6月中旬調査からほとんど増加しておらず、過去3年間の同時期と比較しても少ない状況です。(「幸水」発病果そう率2.7% (H30:10.1%)、「豊水」発病果そう率1.5% (H30:11.2%))

2 これからの防除について

☆豊水以降品種の果実のシンクイ被害防止、秋型病斑葉の発生抑制のための防除を実施して下さい。

ナシヒメシンクイが昨年と同程度にトラップに誘殺されています。

また、黒星病対策(秋型病斑葉の発生防止)のため、以下の内容で防除を実施して下さい。

なお、「豊水」などの品種は、収穫時期を迎えていることから注意事項を参考の上、適正な農薬の使用をお願いします。

回数	散布月日	薬剤名と濃度	収穫基準 (収穫前日数)	散布量	主な対象病害虫	防除実施日
17	9月6 (13:00以降)	ナリアWDG 2,000倍	前日	300 リットル	黒星病 シンクイムシ類 カメムシ類	
	~7日	ダントツ水溶剤 4,000倍	前日			
<p>※ナリアWDGは、全品種が防除対象となります。 ※ダントツ水溶剤は、「幸水」以外の品種(これから収穫される品種)が防除対象となります。</p>						
18	10月上旬 (「あきづき」 収穫終了後)	オーソサイド水和剤80 1,000倍	3日	300 リットル	黒星病	
<p>※オーソサイド水和剤80は、全品種が防除対象となります。</p>						

【注意事項】

- 17回目の防除が、降雨等でできなかった場合は、9月13日(13:00以降)~14日に実施して下さい。
- 散布後24時間以内に収穫された果実は、24時間経過しても出荷・販売できません。(果実は、農薬散布後24時間樹に着果している必要があります)。万が一、散布後24時間以内に収穫した場合は、果実を破棄してください。
また、周囲の収穫園にも十分気を配りましょう。
- 18回目の防除日は、「あきづき」の収穫状況を見極めて決定し、10月初旬にお知らせします。